

MATSUDAI AREA Rice Terrace MAP

越後松代棚田群・棚田マップ

令和4年2月、農林水産省より棚田地域の振興に関する取組が評価され、優良な棚田を認定する取組「つなぐ棚田遺産 ～ふるさとの誇りを未来へ～」に新潟県十日町市松代地域から7地区が認定されました。松代地域には、四季折々に美しい景観を見せてくれる「棚田」があり、越後松代棚田群と呼ばれています。「棚田」とは、傾斜地に段になって作られた水田のこと、情緒あふれる農村の原風景が現在も数多く、大切に保存されています。

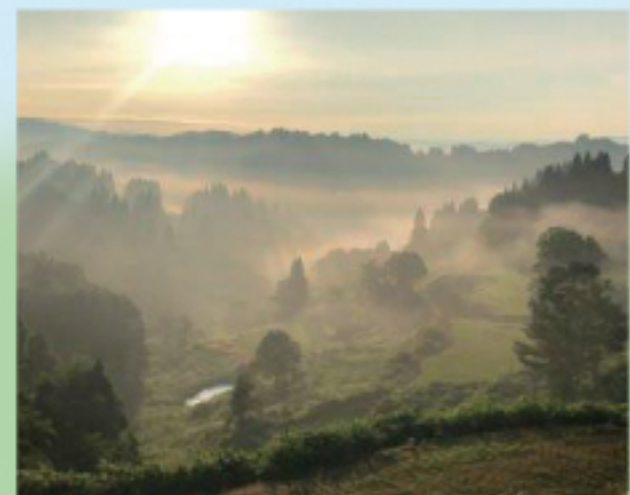


インフォメーション

- 【観光施設】
- まつだい雪国農林文化村センター「農真台」…025-595-6180
 - 道の駅まつだいのさと食農あみりけふ…025-597-3912
 - 松代・松之山温泉観光案内所…025-597-3442
 - 松代ファミリースキー場…025-597-3330
 - まつだい郷土資料館…025-597-2138
- 【バス・タクシー】
- 東頸バス…025-599-2312
 - 東部タクシー…025-597-2254
- 【官公庁】
- 十日町市松代支所…025-597-2220
 - 松代公民館…025-597-2301
- 【消防・警察・病院】
- 十日町地域消防本部しづみ分署…025-597-2310
 - 十日町警察署…025-752-0110
 - 松代交番…025-597-2010
 - 新潟県立松代病院…025-597-2100
 - 新潟県立十日町病院…025-757-5566

宿泊施設のご案内		
施設名	電話番号	
●まつだい芝峠温泉「雲海」	025-597-3939	
●松亭ドミトリイ(団体用)	025-597-2204	
●民宿みらい	050-3700-6231	
●山ノ家 Cafe&Dormitory	025-595-6770	
●松代棚田ハウス	025-594-7555	
●まつだいゲストハウスお松の家	080-5870-1329	
●TREE CAMP 星峠宿(冬季以外)	025-594-7600	
●よもぎHouse	090-2557-8977	
●カールベックス古民家ゲストハウス	070-9200-0437	

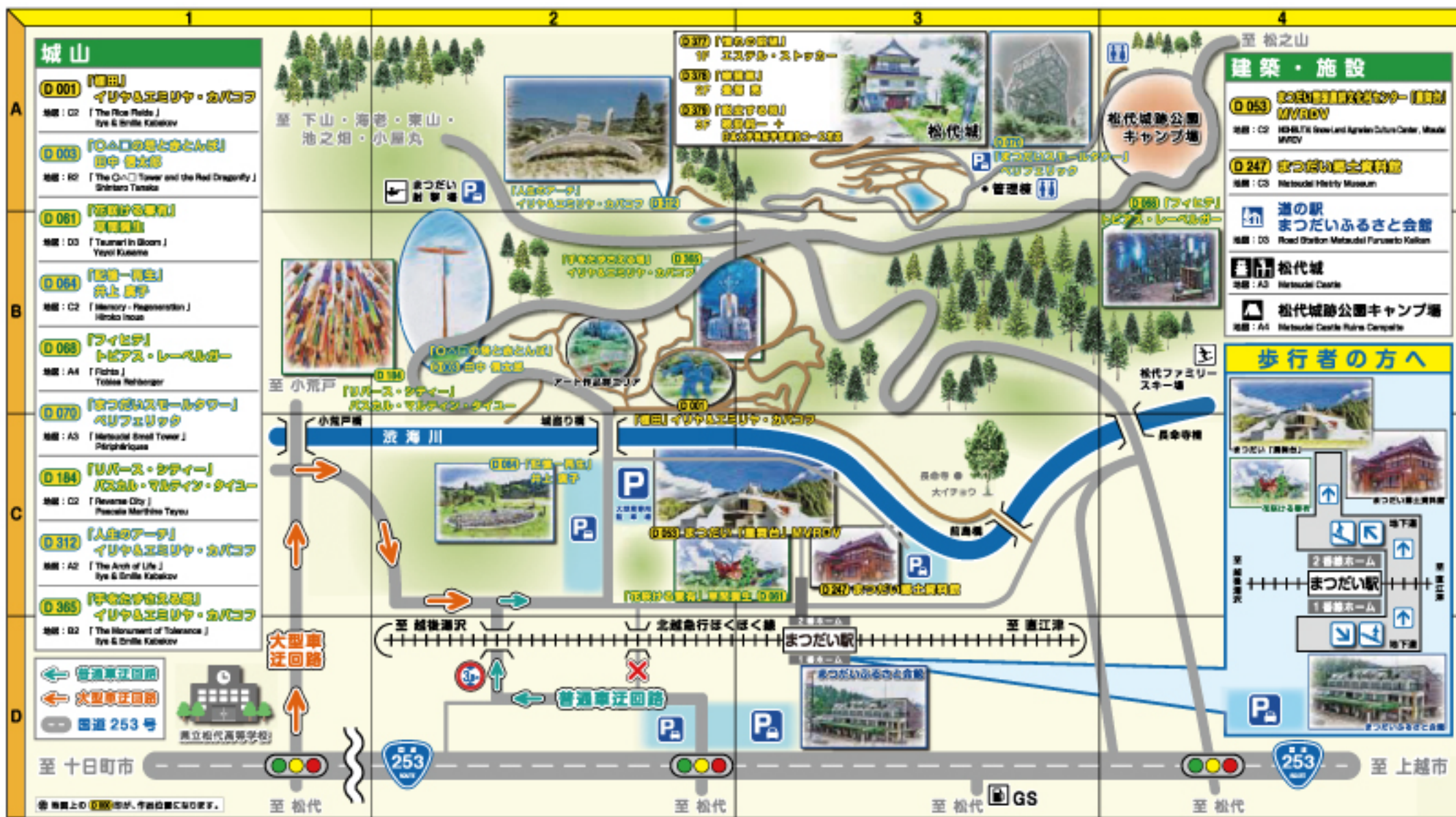
お食事処ご案内		
店名	定休日	電話番号
1 あずま	水曜日	025-597-2327
2 はらた家	木曜日	025-597-2218
3 きくやキッチン	月・火曜日	025-594-7433
4 越後まつだい里山食堂	火・水曜日	025-595-6180
5 そば処 松亭	水曜日	025-597-3052
6 さい(カールベックスハウス)	月・火・水曜日	025-594-7944
7 山ノ家 Cafe&Dormitory	不定休	025-595-6770
8 小春食堂	火・水曜日	025-597-2290
9 くしやき亭	日曜日	025-597-3630
10 越後まつだい里山食堂	水曜日	025-597-3939
11 柳道28	火曜日	090-7233-8667
12 CHAYA(カフェ)	火曜日 冬季 平日	025-594-7600
13 MURA PUB(予約制)	月曜日 (月～金)	090-3877-7750



- お願い事項
- ゴミの投げ捨ては絶対にしないでください。自分で出したゴミは自分で責任をもって持ち帰りましょう。
 - 地域の財産である山菜やキノコ、山野草などは絶対に取らないでください。
 - 田んぼや畑は、囲いがなくても地元の人々の土地です。絶対に入らないでください。
 - 車を駐車する際は安全に十分配慮してください。
 - 農道内の車の乗り入れや、すれ違いのできない場所での駐車はしないでください。
 - 山火事防止のため、火気の取扱いには十分に注意しましょう。
 - これから多くの方々に里山の景色を楽しんでいただけますよう、美味しいお米を生産する場として受け継がれますよう、ご協力をお願いします。
 - 美しい自然をみんなで保護し、大切に育てましょう。マナーの厳守をお願いします。

まつだい「農舞台」フィールドミュージアムMAP

「大地の芸術祭」松代エリアの中心が「まつだい農舞台フィールドミュージアム」です。現代アートの作品群と棚田が点在し、駅から手軽に現代アートと自然が体験できるエリアとして人気があります。そのほか、松代地域の各所にアート作品が点在しています。



制作協力：県立松代高等学校（新潟県高校等と連携した地域活性化事業）



TEL (025) 597-3939
https://shibatouge.com/



展望露天風呂からは上越国境の山々が一望でき、春や秋には眼下に雲海を見ることが出来ます。四季を通じて色とりどりの眺めをお楽しみ頂けます。また、併設の体験交流施設「松代ふるさと道場」では、あんば作りなどの体験ができ、屋外には貸コテージ、遊歩道も整備されています。



松代棚田ハウス

TEL (025) 594-7555
https://matsudai.jp/



松代町青少年研修センターをリノベーションした宿泊施設。施設全体のイメージは「棚田」で統一。その昔は松代中学校の冬季宿舎で、窓から見える中学校、自然、棚田の風景はそのまます。観光以外にも合宿、セミナー、テレワークなど、フルセルフで気軽にご利用いただけます。

森の息吹と野鳥のさえずりで
目覚める朝
街の喧騒を忘れて里山の時間を
楽しみたい人におすすめ



やぶこざきキャンプ場
問合せ: yabukozaki@gmail.com



コテージ（貸山荘）
（キッチンバストイレ完備）
問合せ: まつだい温泉旅館



松代城跡公園キャンプ場
問合せ: 十日町市松代支所地域振興課

松代街並み景観再生事業 & Matsudai Townscape Revival Project

ドイツ人建築デザイナー カールベンクス氏と連携した古民家再生プロジェクト。



カールベンクスアンドアソシエイト 街 TEL (025) 594-7882 https://karl-bengs.jp/

EVENT

- 越後まつだい冬の陣 3月
- ヒツタリ 5月8日
- 越後まつだい春の陣トレイルラン 6月
- 松代観音祭 7月
- ロ・マン24 10月第1土・日曜日
- ほくほく線元気まつり 10月

inまつだい〜秋の宴〜



越後まつだい冬の陣



〒942-1592 新潟県十日町市松代3252-1
TEL 025-597-2220 FAX 025-597-2300
https://www.city.tokamachi.lg.jp

〒942-1526 新潟県十日町市松代3816-1
TEL 025-597-3442 FAX 025-594-7444

ほくほく線発祥の地 まつだい駅

道の駅
まつだいふるさと会館
TEL/FAX (025) 597-3912

国道253号沿いにある「まつだい駅」に併設された多目的施設です。木の温もりが感じられる館内は、特産物販売やレストラン、コンビニ、多目的のホールを完備。また地元の山菜や野菜などを集めたフリーマーケット「愛の風」（4月〜11月の土日祝日8〜14時）が人気を博しています。

越後松代の
特産品

旅の楽しみは郷土の料理に出会うこと。
地元ならではの味がここにあります。松代を訪れたら田舎のお土産をこちらで。



■妻有ビール
地ビール（クラフトビール）。

■世田谷マーマレード
世田谷生まれ松代育ちのマーマレード。

■松代乾そば



松代地域は古くから「乾そば」の産地として知られ、着色料や保存料など使用しない伝統の製法の「乾そば」は価格もお手頃なのでお薦めです。

ふるさとの味と技に息づく素朴な暮らしの手ざわり。

松代は全国でも屈指の家雪地帯。春になるとその雪は大地を潤す雪溶け水となり、米・酒・野菜・山菜など松代自慢の豊かな実りを育みます。自然の恵を慈しみ、味噌や醤油、漬物、山菜加工品などの保存食に仕上げていくのは地元のお母さん達。農家の冬仕事だったワラ細工やしめなわ作りも賑々と今に受け継がれ、雪国の風情を宿した素朴な民芸品が生まれています。

あんば

魚沼産コシヒカリの米粉、大根葉、大豆、よもぎを使った伝統食。地元の食材で、地元のお母さん達が手がける、手づくりの素朴な味わいが好評です。

「芝神特産加工品組合」
TEL: 025-597-2133
（営業日：火・土・日曜日）
（冬期は変更あり）



どぶろく

基本的な製造過程は清酒と同じですが、農薬・化学肥料を一切使わずに栽培した自家栽培米だけを使い、添加物も一切使用せず、もろみを濾していないのが特徴です。そのため香りと味が濃厚に仕上がっています。

「みらい酒店」TEL: 025-597-2561



「大伏宿」

上杉謙信が活躍した戦国時代に山城があり、現在もその歴史の面影を街道沿いに偲ぶことができます。当時の山城は、集落全体が一つの館で、自然の地形をうまく利用した堅固な構えは、難攻不落であったことが推察されます。また、この地には県内最古の建築物である、松平神社があります。

「蒲生宿」

松代で一番の高所にある蒲生宿は、稲穂も多く村人は大変苦労したといわれます。延享元年（1744年）には、遊兵五十一代試任上村人がこの地を訪れ、「一葉師時を越えるが山川難所が多く言語不通」「蒲生、大島間は事のほか雪が多く道中大変所なりこの末々用心せよ」と記述しています。名僧も大雪に恐れを感じたほどの豪雪地帯です。

「松代城」

当時の面影を残す石仏が点在する松代城は、高田藩主・松平光長が時代に六斎市が開かれ、大いに賑わいました。また、陣屋も置かれ、切支丹御制、火付け御制、宿場御制、火付け御制もありました。江戸末期には22戸の旅館が建ち並ぶなど、山間としては珍しい宿駅であったと推察されます。

「松代城」

伊沢和紙の復興と技術開発
和紙伝承施設を設けたことにより、かつて栄えた伊沢和紙を復興させようとしている。（梅の会）

「松代城」

「松代城」

